

議会だより やまもと

Vol. 191
令和3年2月1日発行



よい年でありますように
—2021どんと祭—

第4回臨時会
会期11月18日

第4回定例会
会期12月4日
～11日

- 討論.....P2～3
議案第66号 敬老祝金条例
- 一般質問【我が町政を問う】.....P4～9
議員6名
- 審議結果.....P12
概要・審議結果
- 議会活動.....P14～15
閉会中の調査結果



敬老祝金の見直し

～対象年齢・支給額を改定し継続～

定例会概要

第4回定例会は、12月4日から11日までの8日間の日程で開催され、町長提出議案22件（承認1件、条例4件、契約1件、補正5件、人事案件9件、その他2件）を審議し原案通り可決しました。
一般質問では、町政全般にわたり、6人の議員が町長に質問しました。

山元町敬老祝金及び特別敬老祝金支給 条例の一部を改正する条例（議案第66号）

1 改正内容

支給対象者	改正前		改正後	
	支給額	基準日	支給額	基準日
77歳（喜寿）	5,000円	当該年度の 9月1日	0円	支給対象者の 誕生日
88歳（米寿）	10,000円		10,000円	
99歳（白寿）	50,000円	支給対象者の 誕生日	30,000円	
100歳（百寿）	200,000円		100,000円	

2 施行期日

令和3年4月1日

主な質疑

議員 以前は敬老祝金事業を基金から、敬老会事業は一般財源から支出していた。以前のように分離できるのでないか。

町長 基金を活用するにしても一般財源で手当てするにしても、長寿社会に向けた予算措置は見直しをせざるを得ない。

議員 平成25年、77歳の方々に5千円支給とした経緯は。

町長 少子高齢化社会を見据えて、今まで支給していた分を見直し、集約した。

議員 今回の減額で何年継続できるのか。

町長 今後4年程度で基金の枯渇が予想される。

議員 町では敬老会を実施するのか。



町長 町の敬老会事業は開催せず、各地区での敬老会には一定の支援をする。

議員 各地区での敬老会事業は必ず実施するのか。

町長 強制するものではない。

議員 敬老祝金や敬老事業の対象者から直接の声を聞いたのか。

町長 直接的には意向把握の機会は設けていない。区長会において資料での説明を行なった。



反対

岩佐孝子議員

高齢者福祉施策の低下が心配

1 検討が十分なされていない。

支給対象年齢、額等の削減などについては、再度検討すべきである。

2 高齢者サービスの低下になる。

基金の枯渇を理由としているが、平成25年に枠組みを拡大し77歳に5千円を支給してきた。地域に貢献してきた方々を敬愛し、長寿を祝うための祝い金の削減は、高齢者サービスの低下となる。以上のことから反対する。

遠藤龍之議員

お年寄りを大切にする町政を

「敬老祝金」の縮小、「敬老祝事業」をなくすことなど、高齢者サービスの大きな見直しについて、その対象者となる、お年寄りの方々の声を聞くこともなかった。

さらに、お年寄りを大切にするという高齢者福祉対策からの検討も不十分である。

お年寄りの思いが十分反映されない不十分な検討の中での改正となっていることから反対する。

賛成

渡邊千恵美議員

持続性を保つためにも

敬老祝金の持続性を保つため、県内他自治体の現状や特に隣接町の実態、さらには高齢者人口増加により、せまる諸課題を踏まえた内容と受け止めた。

町長の苦渋の決断と察する。

区長会の意見を踏まえたものとも理解し、各行政区の敬老会に対する支援や高齢者自主事業の後押しを配慮すると回答があった。よって本議案に賛成する。

高橋眞理子議員

基金が枯渇してしまうのは問題

本町の長寿、高齢化がますます進み、受給対象者の増加は明らかである。

本町の長寿社会対策基金の残高が、今後4年のうちに、枯渇することが明示された。

このことから、今回の見直しは止むを得ないと思われる。県南の各自治体でも、近年、同様に見直しが行われている。今後、各行政区における敬老事業の助成を図る事を要請し、この議案に賛成する。

議案第66号 採決表

氏名	伊藤 貞悦	橋元 伸一	岩佐 秀一	大和 晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内 和彦	遠藤 龍之	岩佐 孝子	阿部 均	菊地 康彦	高橋 建夫	岩佐 哲也
結果	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	—

○ 賛成 ● 反対 — 議長



基金の活用と地域福祉計画の策定は

町長 基金は条例改正し福祉は適期に着手



たかはし たてお 議員
高橋 建夫

議員 町営住宅基金は約30億、交付が終わる令和19年度に52億の見通しである。有効活用は。

町長 復興公営住宅は役割を終え、次世代への対応が重要である。

議員 将来人口は右肩下がり、復興公営住宅から町全体の住宅政策の視点で、人口拡大策を。

町長 持続可能な地域の定住促進、宅地化誘導道路や排水整備、宅地造成等の町有地利活用等に一部条例を改正し取り組む。

議員 公営住宅の払い下げも一策だが、譲渡時の国への返還は。

町長 用途が住宅関連であれば返還の必要はない。

議員 高齢者のグループホームの考えは。

町長 国の活用例示にあり、今後の検討になる。

議員 土地開発基金を、利便性の良い「土取り場」、町有地周辺地、国道6号沿いの魅力ある土地等を取得し、特徴ある企業誘致、住宅造成や癒しの場、スポーツ、食事処等への活用は。

町長 可能性を見極め、町の持続的発展にタイムリーに活用する。

議員 奨学金基金の現状は償還業務であり、公約の「奨学金返還サポート」は、国の「給付型奨学金制度」にはかなわないと考えるが。

教育長 この事業継続の是非や子育て事業等を再検討する。

議員 教育重視を前提に、この事業は役割終了とし、枯渇化にある「長寿社会対策基金」等への活用は。

町長 提案も含め、子育て支援を検討する。

議員 地域福祉計画は法改正で任意から努力義務になっているが、本町は県内未策定12市町に含まれている。国のガイドラインからしても策定・実践が必須では。

町長 避けて通れない計画と認識している。福祉の個別計画（高齢者・介護・障がい者）、子育て支援計画、社会福祉協議会の「地域福祉行動計画」や地域・関係団体との連携・協働に時間とマンパワーを要する。

議員 地域福祉を担っているシルバー世代の力をいかすなど、早急に取り組む必要があるのではないか。福祉部



地域福祉計画に期待、福祉部門

門を中心としたプロジェクトの考えは。

町長 課長会議等で問題意識を共有し、可能な限り早めの策定に着手し対応する。

議員 県内高齢化率3

位であり、長寿を誇りに思える計画が重要ではないか。

町長 町の魅力は自然、教育、子育て、住みよい福祉施策と受けとめている。

町民が望む入浴・休養施設の建設を

町長 複合施設全体の可能性を模索する

議員 心身の癒やしやリフレッシュできる入浴施設や休養施設を整備する考えはないか。

町長 複合的な施設整備として、取り組むことがベストと考える。

議員 複合施設の中で入浴・休養施設という方向性は、どのように考えているのか。

町長 入浴や休養など、できるだけ1カ所で交流でき、リフレッシュできることは、非常に理想だと思う。そういうものを含めて複

合的な施設整備が大事なのかと考えている。

議員 「具体的な施設は別」と断り、パークゴルフ場の整備に力点を置いていた。優先順位はパークゴルフが先なのか、複合施設、特に入浴・休養施設が先なのか。あるいは一体として考えているのか。

町長 これまでの取り組みの経緯経過があり、このような回答をした。やはり全体的な施設を勘案しながら、

民間活力の活用・導入も考え合わせ、複合施設全体のありようを模索し検討したい。

議員 施設の利用者などの世代と想定しているのか。

町長 できるだけ幅広い年代・年齢に憩いや癒しの場が提供できる、複合的な機能を勘案することが大事である。

議員 幅広い年代の方々が利用できる施設となると、駐車場を含め大きなスケールになると予想される。判断の時期について具体的に考えているのか。

町長 いつからいつまでという具体的な回答は控えるが、ある時期には一定の方向性や計画を示したい。

議員 入浴・休養施設

を含めた総合的なものを作りたいとの回答だったが、メリットもあればデメリットもある。建設費・維持費・運営費等大きな問題が出てくるが、今後は民

活の導入等を考えて進めるのか。

町長 行政が主体的にあるいは民活を期待して機能分担を見定めていく必要があると考える。

議員 今回、改めて大きな方針転換として総合的な施設を、との考えを示したが、町民の意見を聞く考えはないのか。

町長 町民を代表する議員を基本として、様々な角度から検討していく。

議員 今回、心身の癒やしやリフレッシュで



この場所なのか？入浴・休養施設



議員 貞悦 伊藤

きる入浴・休養施設と健康の保持増進、親子で過ごせる施設の整備について質問したが、入浴・休養施設については慎重に検討して早い時期に方向性を示すべきである。

観光振興・交流人口のさらなる拡大

町長 町の魅力や知名度は高まっている



たかはし まりこ 議員
高橋 眞理子

議員 本町出身の有名な人や馴染みのある有名人等を「やまもとふるさと大使」として任命し、本町の知名度アップ、関係人口増加等を図っては。

町長 活動内容の整理や適任者の選任のほか、地域資源の磨き上げや観光スポットの整備などの課題も多い。反面、「いちごのふるさと」、沿岸部の「ひまわり畑」等により、町の魅力や知名度が確実に高まり、社会増加、転入増加がみられている。

議員 全国の各自治体、観光協会等も含め、800近い団体が「ふ

るさと大使制度」を創設しており、委嘱された方々の活動実績が明らかだ。自治体側には何ら負担はない。各方面からの熱い応援を取り入れない手はない。

町長 将来的な課題として捉えていきたい。

議員 9月から一般公開が始まった、震災遺構中浜小学校への来館者が既に8,200

人を超えている。今後、入館料について、特に障がい者手帳持参の方への割引や年間パスポート発行等の考えは。

教育長 入館料については、貴重な財源であり将来の財政負担とも関わるので、慎重に検討を進めていく。

議員 本町特産のリンゴが、ここ特に2年統



たわわに実った自慢のリンゴ

きで、異常気象によると見られる病害虫等で被害を受けている。

町長 営農者の減少、高齢化や後継者問題等に対し、栽培面積の維持や営農経費を図る目的により、苗木や消毒等の補助金を交付している。今後可能な限りの支援をしていく。

議員 角田方面からトンネルを抜けた最初の

左折道路に「アップルライン」への道案内板を設置しては。また、繁忙期の賑わいに「のぼり旗」を増設しては。

町長 観光道路ではあるが案内板の設置については、町全体を見ての検討が必要であり、「のぼり旗」はリンゴ農家の意向を確認し対応すべきと考える。

議員 企業版ふるさと納税や人材派遣型、外部専門地域力創造アドバイザー制度の活用は。

町長 震災から間もなく10年。マンパワーの確保やスキルアップのため、特に専門的な知識を有した即戦力となる人材確保が必要だが、新規制度導入には

現在、担当部署では目いっぱい状況である。

議員 「新規のものについては、精査し取り組んでいく必要がある。」と構えている場合ではない。国では事務手続き等をより簡素化し活用を推進している。

町長 よい制度は導入を見据え検討深める

持続可能なまちづくりに向けて

町民の命を守ることが最優先では

町長 排水対策は検討中である

議員 大豪雨等により避難勧告が発令されても、避難所となる施設や避難路が浸水・冠水し避難できない状況である。坂元地区の排水対策を見直す考えは。

町長 下郷区の雨水ゲート操作による坂元川への排水や谷地川排水路改修、調整池増設が完成し、改善されてきている。

町長 応急排水ポンプによる対応などの効果を検証し、引き続き施設の適切な管理・点検に努める。

議員 町民の命を守るため、恒久的な対策を早急に講ずるべきでは。

町長 認識はしているが、大規模な事業であり、計画策定や関係機関との協議に相当な時間を要し、事業化は極めて困難である。

議員 町民の命を守ることが優先である。その対策は。



議員 孝子 岩佐

町長 降雨の際に問題なく必要な避難行動できる対策を講じていきたい。

議員 山下地区旧国道排水対策の見直しは。

町長 排水上流部の定期的浚渫、排水ゲート操作による流量調整や側溝に堆積した土砂などの撤去を行っている。
議員 大雨のたび、町中心部に雨水が集中し



浸水、冠水した下郷区

ている。早急に対策を講ずるべきでは。

町長 町内の排水不良懸案3カ所は、詳細設計、排水対策を検討中である。協議が整いつきたい。

議員 パークゴルフ場を中心とした複合施設整備より、町民の「命」を守る事が先決である。

住みやすい理想郷の環境整備を

町長 関係機関と連携を図りたい

議員 独り暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯増加に伴う施策は。

町長 今年度は、コロナ禍により75歳以上の独り暮らしを対象に、高齢者フラワースマイル事業を実施している。

議員 孤独感の払拭や孤独死の防止にも、この事業の継続は。

町長 引き続き検討する。

議員 次期の高齢者保健福祉計画の施策、政策の考え方は。

町長 見守り活動を中心に推進していく。

議員 お金がなくても安心して住み続けることができる制度などの検討は。

町長 町、社協等の関係機関と連携し取り組みたい。

議員 寝たきり高齢者ゼロを目指した元気高齢者施策は。

町長 生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸を図り、社会参加推進を一体的に図る体制整備事業の充実に努めたい。

議員 我が町の宝である、高齢者の知恵と技を持つ人財をいかし、次代へ玉手箱の宝を伝承すべきである。

復興事業と今後のまちづくりは

町長 ハード整備はおおむね完了と認識



はしもと しんいち 議員
橋元 伸一

議員 震災から10年が経過し、大きな区切りを迎えようとしているが、復興事業をどのように認識しているのか。単なる震災復興計画の完遂なのか。

町長 町単独の予算で行う事業、国の交付金で行う事業、基本的には広く捉えるべきである。

議員 一つ一つの事業が進むにつれ、新たな課題や問題が出てくるが、現状における今後の課題をどのように考えているのか。

町長 大きな事業が10年間で終了できなかったことが課題である。また、一定の事業展開

を終えた事業であつても、補完工事をせざるを得ない案件もある。

議員 現状での課題としては、坂元地区、山下地区の雨水排水対策、牛橋公園周辺整備の変更、津波防災区域の見直しなどが考えられるのではないのか。

町長 排水対策は震災前からの大きな課題であり、町全体の排水対策の解析、分析をしながら取り組んできた。日々、問題意識をもって対応しており、指摘、提案などをいただきたい。

議員 早急に改善すべきである。

議員 牛橋公園周辺は、スポーツゾーンとして整備する予定で、買い取った非農地を集約した地区（町有地）である。計画変更になったが、今後の計画は。

町長 さまざまな構想

がある中で、周辺の環境に配慮し、観光資源の活用を含めた一体的な整備を含め、早期に熟度を高めて示す必要がある。

議員 さまざまな構想とは何か。

町長 イベント広場、防災公園が中心になってくる。

室長 農地整備事業の連絡調整会議の中で検討中であり、示せる段階ではない。

議員 早期の計画立案を求める。

議員 2線堤と位置付けられている県道相馬亘理線のかさ上げ工事が間もなく終了するが、津波防災区域の考え方に変更はないか。

町長 繰り返しになるが、現段階で特に変化、変更はない。県で進めるシミュレーションの結果を踏まえてである。見直しに伴う防災対策の再構築について、

共通した認識の下で進めなければならぬ。

議員 震災復興計画は、震災からの復旧・復興を優先するが、将来を見据えた創造的な復興と位置付けられているため全体の町づく

りも大切である。しかし、被災地区が置き去りになってはならない。



牛橋公園周辺

定員オーバーによる待機児童対策は

町長 申し訳ないがお待ちいただく

議員 「山元町子ども・子育て支援事業計画」に基づく保育事業の取り組みについて、1期計画をどう総括し、2期計画に生かし、つなげたか。

議員 3年間の実績は160名を大きく超えているが、間違いはないか。

課長 人数に間違いはない。

議員 定員に対し、かなりオーバーしているが、町長はどう思うか。

町長 169名までは認められている事業でもある。

議員 150名と規定しているにも関わらず、2期計画には定員を大きくオーバーした見込み量の計画になっている。1期目の計画実績を生かすのであれば、

議員 町長は今年度予算審議時に「現時点では、保育所・幼稚園の定員等から既存の保育所・幼稚園での受け入れで対応することが可能であると見込まれることから、新たな保育所は設置せず」と町民

に約束していた。しかし、5人の待機児童がいるという現実において受け入れ可能といえるのか。

町長 年度当初ということを示している。

議員 答えになっていない。この間続いている定員オーバーという異常事態から必然的にうまれている待機児童問題の対策に対し、「お待ちいただく」という町長の姿勢に「子育てするなら山元町」と言えるかどうか疑問。保育環境の整備は待ったなしの課題である。



えんどう たつゆき
遠藤 龍之 議員



説明資料等の配布に問題はないか

町長 必要性を見極め対応する

議員 議案提案等に必要説明資料等の配布に問題はないか。

町長 詳細な説明を踏まえて必要性を見極め対応する。

議員 臨時議会の案件で必要な資料が配布されない問題があった。町長には説明責任が求められていることから、その対応を強く求める。

その他の質問

3病院連携・統合構想について
知事は「一定の方向性を出したい」としているが、県の動きをどうみているか
・町としてどう受け止め、対応しようとしているのか

一般会計補正予算 新型コロナワクチン 接種体制確保等



一般会計の補正予算額は約2億4千万円を増額し、総額約142億3千万円となりました。
主な補正内容は次のとおりとなります。

- 移住・定住支援事業補助金 ○学校給食管理システム導入業務
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 ○磯浜漁港補修工事
- 道路・河川等の災害復旧工事（9月12日の大雨に伴うもの）

主な質疑

○保育所費

議員 保育所費の現年度分減額の内容、内訳は。

課長 東日本大震災被災家庭で保育所を利用してしている保護者の負担軽減を目的とした、県からの補助金額が確定したため減額した。内訳は、0歳から2歳の園児25名分の保育料となる。

○財政調整基金

議員 財政調整基金から取り崩した1億3,900万円は、どこに振り分けたのか。

課長 移住・定住支援補助金4,900万円と公共土木施設の復旧費4,300万円である。



※財政調整基金とは
財源不足や緊急の支出が生じた場合に備えて積み立てる基金

○定住促進対策費

議員 移住・定住支援の増額補正は、何件を見込んでいるのか。

課長 当初予算で新築・中古住宅の取得合わせ74件を措置していたが、新規住宅取得分19件増を想定し、約5千万円の増額補正とした。

○漁港施設復興推進費

議員 漁港施設復興推進事業は継続事業だが完成までの、進捗状況と契約内容は。

課長 令和元年度から3年度までの3カ年計画で補修を予定していたが、令和2年度の中に、令和3年度実施分が繰上げ交付されたため、予算措置をした。



建築中の住宅



※人権擁護委員とは
人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動をしており、法務大臣から委嘱される民間ボランティア

新しい人権擁護委員
太田 一江氏
(合戦原区)
適任と答申



新しい農業委員会委員 8 名を同意

【任期 令和 3 年 1 月 29 日から令和 6 年 1 月 28 日まで】

阿 部 賢 一 氏 (久保間区)	岩 佐 正 氏 (町区)
庄 司 恒 一 氏 (町区)	鈴 木 京 子 氏 (小平区)
渡 辺 成 寿 氏 (笠野区)	遠 藤 智 氏 (仙台市)
菊 地 孝 式 氏 (つばめの杜東)	星 健 悦 氏 (真庭区)

契 約

磯浜漁港北防砂堤の補修工事

金 額 9,493万円
相手方 東洋建設株式会社 東北支店
工 期 令和 2 年 12 月 14 日から 3 年 3 月 26 日まで
工事の概要 北防砂堤Ⅱ、先端部分の経年劣化に伴う損傷を補修するため、鋼板による穴塞ぎや鉄筋コンクリート被覆工事等を行う。



おめでとうございます



「文化の日」 県知事表彰

【地方自治功労】

青田 和夫氏 (浅生原区) 前山元町議会議員

多年にわたる議員活動を通じて、地方自治の確立と住民福祉の向上に尽力した功績

○第4回定例会 議案等の審議結果

議案番号	事 件 名	結 果
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度山元町一般会計補正予算・専決第4号）	承認 (全員一致)
議案第64号	山元町議会議員及び山元町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	可 決 (全員一致)
議案第65号	山元町企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (賛成7・反対5)
議案第66号	山元町敬老祝金及び特別敬老祝金支給条例の一部を改正する条例 【P2～3に掲載】	可 決 (賛成7・反対5)
議案第67号	令和2年度 漁機請1号 磯浜漁港北防砂堤Ⅱ補修工事請負契約の締結について 【P11に掲載】	可 決 (全員一致)
議案第68号	字の区域の画定について（山元北部地区）	
議案第69号	字の区域の画定について（磯地区）	
議案第70号	令和2年度山元町一般会計補正予算（第5号） 【P10に掲載】	
議案第71号	令和2年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
議案第72号	令和2年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第73号	令和2年度山元町水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第74号	令和2年度山元町下水道事業会計補正予算（第2号）	
議案第75号	山元町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
同意第7号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P11に掲載】	同 意 (全員一致)
同意第8号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P11に掲載】	
同意第9号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P11に掲載】	
同意第10号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P11に掲載】	
同意第11号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P11に掲載】	
同意第12号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P11に掲載】	
同意第13号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P11に掲載】	
同意第14号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P11に掲載】	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 【P11に掲載】	適 任

○陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者等の氏名	結 果
陳情第9号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充、格差のない全国一律最賃制度の確立を求める政府に対する意見書採択の陳情書の提出について	宮城県春闘共闘会議 代表幹事 高橋正行	配布のみ
陳情第10号	「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」採択を求める陳情書の提出について	宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修	
陳情第11号	女川原発再稼働を認める宮城県決議の撤回を求める陳情書	陳情者代表 浅利志津子	
陳情第12号	水田農業対策に関する要請書	みやぎ巨理農業協同組合 代表理事組合長 村山裕一	
陳情第13号	女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求める陳情書	陳情者代表 浅利志津子	

令和2年 第4回臨時会

山下中学校給食室
物品購入契約

11月18日に、大雨（9月2日）による被害で緊急性が高い箇所の応急復旧工事などに伴う補正予算、役場構内駐車場等整備工事や山下中学校給食室備品整備事業などの契約に関連する臨時議会が開催されました。

町長提出議案12件（報告2件、承認1件、議案9件）を審議し、原案通り可決しました。



主な質疑

【議案第62号】

山下中学校給食室

備品整備事業に係る物品購入契約

議員 既存の備品で使用可能なものは、

課長 現在使用しているものは、長年使用しており、今回の機会に更新をしたい。

議員 アレルギー食と一般食は、区分した別々の部屋で調理すると理解してよいのか。

課長 アレルギー食の分は、分けて調理する。

議員 現場の声をきちんと確認し、子どもたちに事故がないような食を提供するよう求める。



○第4回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	事 件 名	結 果
報告第17号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）	報 告
報告第18号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）	
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度山元町一般会計補正予算・専決第3号）	承認 (全員一致)
議案第55号	山元町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (全員一致)
議案第56号	山元町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第57号	山元町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	
議案第58号	令和2年度 山元町役場構内駐車場等整備工事請負契約の締結について	
議案第59号	令和2年度 社総交（復興）請5号 頭無西牛橋線交差点改良工事請負契約の締結について	
議案第60号	令和2年度 社総交（復興）請6号 頭無西牛橋線交差点改良工事請負契約の締結について	
議案第61号	令和2年度 社総交（復興）請7号 高瀬笠野線道路改良工事請負契約の締結について	
議案第62号	令和2年度 山元町立山下中学校給食室備品整備事業に係る物品購入契約の締結について	
議案第63号	令和2年度 山元町町民グラウンド拡張・改修工事請負契約の変更について	

総務民生常任委員会

環境問題

町内及び近隣の最近の動向、及びこれまで行なわれた対策について調査した。

意見

まだ改善されていない点も多く、住民への影響も踏まえ、早期改善に向けて今後も注視する必要がある。

保育事業

施設別利用者数、待機児童の推移、3歳児未満の保育制度、坂元送迎保育ステーションの事業、病児保育の利用状況を調査した。

意見

定住促進も考慮し、「第2期山元町子ども子育て支援事業計画」にある小規模保育事業等の取り組みだけでなく、新設や増設を含め

再検討すべきと思われる。今後も継続調査する必要がある。



送迎保育の様子

入札・契約

条件付一般競争、指名競争入札等の発注方法別に、ここ3年間の執行状況や議決案件の入札状況を調査した。

意見

高落札入札、変更契約等に問題がみられ、改善を求めてきたが指摘している発注方法の

改善等、具体的な取り組みを急ぐべきである。

高齢者福祉

高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、包括支援センター業務委託後の内容、敬老事業の見直し等を調査した。

意見

利用者負担額の軽減を図る取り組みを推進し、誰もが利用しやすい介護サービスの提供につなげる事業計画の策定が必要である。

産建教育常任委員会

町の産業

(1) 農水産物直売所飲食施設の進捗状況について調査をした。



完成前の飲食施設

(2) 農業・林業・漁業の現状と課題について調査をした。

意見

(1) 道路の渋滞や駐車場不足が懸念され、駐車場全体のあり方について検討すべきである。
(2) 次の現状・課題に対し、積極的な対応を図るべきである。

① 農業 高齢化、担い手不足や耕作条件が悪い耕作放棄地が増加している。

② 林業 林道整備などの適切な管理がなされていない。

③ 漁業 原発事故による処理水の海洋放出により風評被害で漁業者が苦境に陥ると懸念される。

教育環境整備

(1) 学校施設、給食、学力向上について坂元小学校、坂元中学校の現地調査を実施した。

(2) 社会教育施設の現地調査を実施した。

意見

(1) 児童が安全安心に学習できる環境整備のため、すぐに対応できる予算措置をすべきである。

(2) 防災拠点・坂元地域交流センターは、大雨、豪雨の際に浸水してしまい避難できず施設の役割や機能を果たせていない。また、他の施設は、建築後30年以上経過し老朽化している。利用者の安全確保を図り、人材育成や地域コミュニティ形成の場とすべきである。

新型コロナウイルス感染症対策

感染症における町独自支援策を含む状況について調査をした。

意見

国及び町独自の支援策において、漏れがないよう万全な対応を図り対応されたい。

議員の会議等出欠状況

令和2年10月1日～12月31日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				伊藤貞悦	橋元伸一	岩佐秀一	大和晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内和彦	遠藤龍之	岩佐孝子	阿部均	菊地康彦	高橋建夫	岩佐哲也
10	5	月	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	7	水	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	14	水	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	15	木	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	16	金	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	20	火	全員協議会	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	木	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	欠	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	28	水	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	29	木	産建教育常任委員会	○	—	—	欠	—	—	○	—	○	○	○	—	—
11	4	水	県町村議会広報研究会	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—
	6	金	産建教育常任委員会	○	—	—	欠	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	9	月	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	11	水	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	12	木	巨理地方町議会議員研修	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
	13	金	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	16	月	県町村議会議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
			県知事との意見交換会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	18	水	第4回議会臨時会	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
			全員協議会	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
	19	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	欠	—	○	—	—	—	○	—
	20	金	全員協議会	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
12	1	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	水	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
			第4回議会定例会（12/4・8・9・11）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	10	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
			産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	16	水	巨理地方町議会議長会 役員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	17	木	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	22	火	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
			産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	23	水	仙南・巨理地方町議会議長会 議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○

議長交際費

令和2年10月～12月までの
交際費の支出はありません。



すぎです
やまもと



花釜音頭保存会

会長 菊地 正己氏

花釜音頭は約30年前、区民の渡辺隆栄氏の詞と、亘理町在住の民謡家青柳照桃氏の作曲で誕生しました。歌詞は特産のイチゴの収穫やホッキ漁、地域の祭りなどを織り込み「花釜よいとこコラヤンセ」と歌いこまれています。

歌詞にも描かれた豊かなふるさととは、東日本大震災の津波で大きく傷つきましたが、平成24年10月会員約30名で「花釜音頭保存会」を再発足しました。月一度の練習を欠かさず、地区を離れざるを得なかった方々も多く参加し、現在では会員が40名を超えるまでになっています。

山二小4年生への指導や地域の夏祭り、神社の例祭、仙台七夕などへの出演で、花釜音頭の再生と住民の再結集に頑張ってきております。

今後は、各地で「花釜音頭」を広めるとともに後継者育成にも努めていきます。

◆ ◆ ◆ お知らせ ◆ ◆ ◆

令和3年

第1回山元町議会定例会(予定)

会 期: 2月26日(金)
～3月18日(木)

開 会: 午前10時

本会議: 2月26日、3月3日・4日・8日・18日
(一般質問は、3月3日・4日です。)

町ホームページをご覧ください

山元町議会で **検索**

- 議会中継(録画配信)
- 議決結果
- 会期日程
- 会議録
- 議員、委員会等名簿
- 議会だより
- 決議

以上の内容を掲載しています。

編集デスク

昨年は、震災復興・創生期間の最終年度における復興事業の総仕上げとともに、新型コロナウイルスや豪雨対策に追われた一年でありました。今年も、震災から10年を迎えますが、引き続き、将来に夢と希望が持てるまちづくりを目指していく必要があります。

議会は、町民の皆さまの声を真摯に受け止め、負の財産を残すことのないよう先を急がず一歩一歩着実に、全集中で物事を進めていく所存です。

今後とも皆さまの一層のご支援ご協力をお願いいたします。

(岩佐 孝子)

〈議会広報・広聴常任委員会〉

委員長 岩佐 孝子
副委員長 高橋眞理子
委員 伊藤 貞悦
委員 岩佐 秀一
委員 大和 晴美